

シラバス参照

科目名	地域と産業Ⅱ
配当年次	1年次
開講期間	後期
単位数	2
担当教員	石井 龍太(イシイ リョウタ)
期間・曜日・時限・教室	後期 水曜日 2時限 17-202

※	
授業の目的・目標	<p>【授業の概要】:この講義では様々なテーマを取り上げ、地域の個性を持ちながら、日本と世界に通じる「産業」について、歴史、社会的影響など様々な側面から取り上げる。また地域から周辺へ、世界へと展開した部分についても積極的に扱う。</p> <p>【授業の目的】:講義を通じ、世界各地で展開する様々な地域産業について、特に共通性と個性を理解できるようになることを目的とする。</p> <p>【習得できる力】: ①.知識 ⑤.論理的思考力 ⑥.問題解決力 ⑩.生涯学習力</p> <p>【授業の到達目標】: 様々なテーマの中で周辺地域と比較しながら検証していく手法を採り、地域の産業と地域の個性を世界の中に位置づけ、幅広い教養と、地域社会や国際社会で活躍するための基礎的能力を習得することを全体の到達目標とする。</p> <p>【実務経験と授業内容との関連】:なし</p>
準備学習等の指示	<p>この授業は1回の授業につき3時間の準備学習が必要です。</p> <p>課題の提出は,Teams, WebClass等のLMSを用います。</p>
講義スケジュール	<p>■1回目 【テーマ】 「地域」とは? 「産業」とは?② 【到達目標】 講義の開始に当たり、本講義のキーワードである「地域」と「産業」の意味について改めて考え、理解することを目標とする。 【準備学習】 複数の辞書を当たり、「地域」「産業」について検索し自分なりの理解を身に付けておくこと。</p> <p>■2回目 【テーマ】 日本鉱山史 古代～戦国金山産業史 【到達目標】 日本列島に眠る金資源の採掘と利用がどの様に開始されたのか、その社会的、世界的影響は何かを深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■3回目 【テーマ】 日本鉱山史 近世金山産業史 【到達目標】 日本における金銀資源が最も多く採掘され、国際的影響力が増す中で展開した産業史について、特に佐渡金銀山で試みられた様々な施策について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■4回目 【テーマ】 鉄 世界製鉄史 【到達目標】 鉄がどの様に資源化され、世界にどの様な影響を及ぼしたかについて、特に西アジア、西洋諸国の歴史的展開に及ぼした影響を深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■5回目 【テーマ】 鉄 東アジア製鉄史 【到達目標】 世界の鉄資源の利用においては後れを取った東アジア、特に日本列島で展開した製鉄産業とその社会的影響について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■6回目 【テーマ】 日本古代窯業史 列島窯業の始まり 【到達目標】 日本列島において窯業がどの様に始まり、その社会的影響がどのようなものであったのか、深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■7回目 【テーマ】 日本古代窯業史 列島窯業の古代中世史 【到達目標】 古代から中世にかけて、大陸から技術を導入しながら日本列島の窯業がどのような変化を遂げたのか、そこから見出せる社会の変化とは何かについて深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■8回目 【テーマ】 日本近世窯業史 列島窯業の革新 【到達目標】 近世期に入り新たに生み出された磁器産業の展開について、当時の社会情勢を踏まえながら深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■9回目 【テーマ】 日本近世窯業史 世界に広がる日本磁器 【到達目標】 近世初期に中米まで世界中で受け入れられた日本産窯業製品の展開について、最新の研究状況を踏まえながら深く理解すること</p>

	<p>を目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■10回目 【テーマ】 万国博覧会「万博の時代」 【到達目標】 19世紀にイギリスで開始された万国博覧会の展開と、万博が世界の産業に及ぼした影響について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 提示された参考文献に目を通しておくこと。</p> <p>■11回目 【テーマ】 万国博覧会 日本の万博参加 【到達目標】 近世、近代期を通じ万博に参加し続けた日本の役割と国内外の産業に及ぼした影響について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■12回目 【テーマ】 内国勲業博覧会 内国博の始まり 【到達目標】 万博への参加を続ける中で近代初期から試みられた日本の産業振興策のうち、特に大きな動きとなった内国勲業博覧会について、特にその開始期の状況を深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■13回目 【テーマ】 内国勲業博覧会 万博への道 【到達目標】 満足とは言えない結果に終わった第一回内国博の後、日本産業界のために繰り返された第2、3回内国博の状況について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■14回目 【テーマ】 内国勲業博覧会 地方博の時代 【到達目標】 京都と大阪を舞台に再開された第4、5回内国勲業博覧会について、産業界に及ぼした意義と地方観光への貢献のあり方について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p> <p>■15回目 【テーマ】 現代世界の万国博覧会 【到達目標】 2次大戦後にも繰り返された万国博覧会の特徴、特にアジア初の万博「大阪万博」の及ぼした影響について深く理解することを目標とする。 【準備学習】 前回の講義内容を復習し、また提示された参考文献にも目を通しておくこと。</p>
教科書	特に指定しませんが、講義中に紹介する参考文献を積極的に参照して下さい。
参考文献	<p>石井龍太 2011年『琉球近世植木鉢の系譜 ―アジアの中の琉球園芸文化―』『南島考古』沖縄考古学会、第30号</p> <p>秋道智彌 1994年『クジラと人の民族誌』東京大学出版</p> <p>塚本勝巳 2012年『世界で一番詳しいウナギの話』飛鳥新社</p> <p>鈴木芳行 2011年『蚕に見る明治維新 洪沢栄一と養蚕教師』吉川弘文館</p> <p>今村啓爾 1997年『戦国金山伝説を掘る』平凡社</p> <p>大阪市立東洋陶磁美術館編 1999年『大阪市立東洋陶磁美術館 館蔵品選集 東洋陶磁の展開』</p> <p>矢部良明監修 2005年『【カラー版】日本やきもの史』第4刷 凸版印刷</p> <p>平野繁臣 1999年『国際博覧会歴史事典』内山工房</p>
授業の方法	<p>授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反転授業 ・実習、フィールドワーク <p>なお、本授業では授業の双方向性と皆さんの学びを可視化するために、Teams等でのチャット機能やFormsを活用した授業を実施します。</p>
成績評価方法	<p>【評価方法】平常点(授業への参画、受講態度)と試験・レポートで評価します。</p> <p>【割合】平常点50%、試験・レポート50%</p> <p>【基準】授業内容に関する深い理解を獲得することが出来たか。</p> <p>【フィードバック方法】なお、課題等については、 ・実技・実習後、全体に向けてコメントします。</p>
オフィスアワー	開講日の昼休み
居室	17-512
ホームページ	城西大学経営学部 石井龍太研究室
その他特記事項	【ナンバリング : GEO201J】
添付ファイル	